

篠原 徹

## 【熊本大学と漱石像】

熊本大学の構内にはクスノキが多く、緑陰と風が暑さを和らげる。集中講義を依頼され出向いた時、山下裕作教授が大学構内を案内してくれました。というより実は見せたいものがあったのです。漱石は五高で教鞭をとった時代があり、それを記念してこの文豪の像がある。漱石は座つて手を伸ばして、何か子どもの頭をさするような姿態である。像の横に「秋のふみ吾に天下の志」の句碑が建っている。山下教授が、「この漱石の手に頭を突っ込んで撫でてもらうと頭がよくなる」という伝承がありますね。学生はよくやっていますよ、都市伝説ですね」といかにも民俗学者らしい解説でした。それで私も漱石の手に頭を突っ込んで撫でてもらった。頭がよくないと聞くと嘘でもそうせざるをえないではないか。すると山下教授がさかさず「熊本大学の学生が以前この光景をみて、へ漱石の手馬鹿の頭でつるつる」と詠みました」と教えてくれました。五年前の八月上旬のことでありましたが、大学も罪な像を造るものだと思つたものです。いや学生の機知に富んだ作品を褒めるべきでなのでしょうね。

自然を歩く 11